



東北大学

第135回

東北大学

金属材料研究所 講演会

日時 2018年5月23日(水)

場所 金属材料研究所2号館講堂

事前申し込み不要、聴講無料

実行委員 千葉晶彦、水口将輝

午前 10:00~12:10

10:00~10:10 所長挨拶

所長 高梨弘毅

一般講演(所内教員)

10:10~10:50

分子性物質のやわらかい
パイ電子物性

教授 佐々木孝彦



10:50~11:30

耐照射性・耐環境性に優れた
次世代原子力材料の開発

教授 笠田 竜太



11:30~12:10

規則合金を基軸とした
スピントロニクス機能の創出

准教授 関 剛斎



午後 13:30~19:30

特別講演

13:30~14:30

IoT/AIが起動した新産業革命が実現する
未来のものづくりと金属積層造形

三菱電機株式会社 FAシステム事業本部 産業メカトロニクス事業部
技師長 安井 公治



デジタル技術を起点としたIoT/AIなどの技術は、Society5.0と呼ばれる社会変革へ向けた新産業革命ともいえる動きを誘発しており、最初のターゲットとして、ものづくり分野への投資がスタートしている。この動きの経緯と、その先に実現される未来のものづくりの姿、その中での差別化の必須要素となる金属積層造形の位置づけについて講演する。

プロフィール 1982年東京大学工学部物理工学科卒業。工学博士(東京大学)。三菱電機にて産業用加工機を開発。製品開発や、全社開発戦略立案などを経て、現在、本社にて、産業用加工機を基軸にグローバルのお客様にソリューションを提供する技術責任者。日本版のエコシステム構築に向けて、COIプログラム(JST・文科省)、SIPプログラム(内閣府)などの活動も推進。

14:40~15:40

ダイヤモンドの魅力

— 宝石、そして次世代パワーデバイス・量子センサの可能性 —

東京工業大学 工学院 電気電子系
教授 波多野 睦子



ダイヤモンドの魅力?もちろん誰もが魅了される宝石としての輝きでしょう!しかし他の半導体に無いユニークで優れた物性は宝石より魅力的で、新たな価値の創出が期待できます。講演では、次世代スマートグリッド用のパワーデバイスの可能性、さらに高感度でナノスケールの空間分解能を有する量子センシングの将来展望を紹介しします。

プロフィール 慶應義塾大学電気工学科卒業後、(株)日立製作所中央研究所入社。モバイルディスプレイの事業化、環境エレクトロニクスプロジェクトリーダー兼主幹研究員をつとめる。途中、米国カリフォルニア州立大学バークリ校(UCB)客員研究員。2010年東京工業大学に着任。自慢は、祖母(106)、母(82)、二人の娘、1歳の孫からなる女性5世代。

15:50~17:30 ポスターセッション

18:00~19:30 ポスター賞表彰式



お問い合わせ先

金属材料研究所 情報企画室 広報班

TEL 022-215-2144 URL <http://www.imr.tohoku.ac.jp/>E-MAIL k.kouen@imr.tohoku.ac.jp

135回 金研講演会

検索